

市民と議会

つながる

多摩市消防団

多摩市消防団に聞きました

たま市議会だより
編集会議

多摩市の安心安全の為に日頃から活躍している多摩市消防団ですが、どのような活動をしているのか気になっている市民の方も多いのではないでしょうか。消防団は市内で火災が発生した時は消火活動や後方支援、台風や大雪の時には市内の警戒や災害対応、火災予防の広報活動など様々な活動を行っています。また、地域の防災訓練などにも参加して防災についての指導なども行っています。

たま市議会だより編集会議は5月29日に行われた多摩市合同水防訓練に取材に行き、森久保芳康団長、佐伯一哉副団長にお話を伺いました。また、水防訓練と同時に市内各所で行われていた避難所開設運営訓練に取材へ行きました。

たま市議会だより編集会議(以下、編集会議)

普段、仕事をしている中で消防団員として活動する大変さや苦労などはありますか。

森久保団長

団員は生業を持っているので仕事との調整を取りながらの消防団活動が大変だと思います。

佐伯副団長

今はサラリーマンの団員が増えているので会社の理解を得て活動するのが苦労だと思います。また、家族の理解がないと絶対にできないことなのでそこも大変なところの1つだと思います。

編集会議

消防団活動の中でやりがいを感じる時はどんな時ですか。

森久保団長

第6分団に20年在籍して火災現場で地域の方から「ありがたい」という言葉をかけられたり、自然災害出場で感謝をされたりしたときはやっていてよかったと感じました。

佐伯副団長

消防団をやっていなかったら関わることのなかった地域の方と関わることで、役に立てていると思えた時にやりがいを感じます。



避難所開設運営訓練の様子(武道館)



編集会議

一般的には消防団には「縁の下の力持ち」「大変な仕事」というイメージがありますが、実際に活動している方の意見を聞かせてください。

森久保団長

現在、多摩市消防団の団員は様々な世代・職業の方がいる中で、年齢差や体力差など色々な困難を乗り越えて1つの目標に向かって活動をしています。そのような目標を達成することで絆や団結が生まれていると思います。これが消防団の魅力の1つだと思います。

編集会議

これから多摩市消防団をどんな消防団にしたいですか。

森久保団長

常勤の消防職員などと違って、訓練の時間など大きな制限があります。このような制約がある中でも技術を磨いて、知識的にも技術的にも他の地域の消防団に負けにくいぐらいのトップクラスの消防団にしていきたいと思っています。

佐伯副団長

誰もが消防団員としてやってみたいと言われてもらえるような消防団にしていきたいです。

編集会議

消防団から議会に対して要望などはありますか。

森久保団長

現在、ポンプ操法訓練は多くの分団で清掃工場を使っていますが、移動に時間を取られることや家から遠いなどの声が上がっています。このような事態を解消するために練習場所を探すことに手を貸していただきたいと思っています。

佐伯副団長

現在の消防団はサラリーマンの団員が多いため昼間に多摩市内におらず、火災等の災害対応がうまくできない恐れがあります。このようなときに対応できるように「特別態勢」が取れるようにしてほしいです。



令和4年9月 第3回多摩市議会定例会(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
				9/1	2	3
				本会議 (行政報告等、一般質問)		
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 (一般質問)		本会議(議案等審議)		
11	12	13	14	15	16	17
	常任委員会					
	総務	健康福祉	生活環境	子ども教育	予算決算特別委員会 (決算審査)	
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日	予算決算特別委員会 (決算審査)			秋分の日	
25	26	27	28	29	30	10/1
	予算決算特別委員会 (決算審査)			代表者会議	議会運営委員会	
10/2	10/3	10/4				
	休会日	本会議 (議案等審議)				

※日程は変更になる場合があります。

※目の不自由な方へ、たま市議会だよりを音訳したCD「声のたま市議会だより(デジ版)」を発行しています (一部のパソコンでも再生可)。
申し込みは多摩市議会事務局 ☎042-338-6890へ